

2022年度 事業報告書

2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 あだたら青い空

1 事業の成果

フリースクールの利用者は少なかったですが、教育相談や体験入所を行うなど地域での貴重な不登校支援活動を担ってきました。被災者支援ハイキングやウォーキングや生きがい交流活動エールは毎月実施し、被災者と地域住民の健康増進や交流促進などのために重要な役割を果たしています。毎月2回実施のこども食堂ハラクッチーは親子や兄弟での参加が多く、地域の子育て支援や居場所作り、地域の交流促進の場として益々重要になっています。毎月定期的に生活困窮家庭への食料品配達支援も実施しました。毎月1回実施している森のようちえん&がっこうは、野外体験活動を通して子どもの情操を育むものです。学習支援はこども食堂ハラクッチーと並行して計画しましたが、希望者がいませんでした。

2 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
青少年に対する総合的な自立支援事業	不登校の子どもの自立支援のために居場所作りや学習支援などのフリースクールを実施。	平日の午前10時から午後4時まで。	二本松市岳温泉のあだたら青い空。	1～2名のスタッフ	不登校の子どもを対象。平均毎月のべ1名が利用。	0
東日本大震災で被災した被災者をはじめ地域住民へのレクリエーション支援事業	被災者支援や住民交流のためにハイキングやウォーキング、生きがいの交流活動エールを実施。	ハイキングは1日、ウォーキングは午前中のみ。生きがい交流活動エールは毎月2回、約2時間。	ハイキングは福島県内や近県へ。ウォーキングは二本松市と福島市周辺。生きがい交流活動エールは毎月二本松市と福島市で開催。	4名のスタッフ	被災地住民や地域住民。ハイキングには約20名、ウォーキングには約15名、エールには約10名が参加。	1180
地域の貧困世帯に対する支援や居場所作りに対する支援事業	生活困窮家庭の支援や地域の子育て支援、地域の子居場所作りのためにこども食堂ハラクッチーを実施。毎月の食料品配達。	こども食堂は毎月2回、10時から14時まで。食料品配達支援は毎月1回実施。	二本松市福祉センターなど。	2～6名のスタッフ	こども食堂には地域の子どもから高齢者まで、20名前後参加。	674
野外活動を通じた青少年に関わる環境教育及び人材育成の事業	子どもが自然の中で自由に遊び、感性や生きる力などを育むために森のようちえん&がっこうを実施。	毎月1回、土曜日、10時から14時まで。	二本松市岳温泉周辺の森や川など。	2～3名のスタッフ	小学生以下の子どもを対象。年間4回実施。	72
青少年に対する家庭学習支援事業	こども食堂ハラクッチーと同時実施でしたが、利用者はありませんでした。					0

(2) その他の事業

実施していません。